

第 12 回 65 期テニスの集い(2014 年 9 月 27,28 日)

参加者：牧野泰晴(1 組) 関賢治(2) 原田義則(3) 若柳直人(4) 布施修一郎、
内堀信・葵(6) 佐藤徹郎(7) 宮沢憲一(10) 中山正光(11)
場所：グランドエクシブ軽井沢

9 月 27 日(土) 11 時 53 分、御嶽山が噴火。この突然の出来事の最中、今年の同期テニス 軽井沢大会(第 7 回)が始まった。

チェックイン後、休む間もなくナイター・コートへ向かった。

明日の本番に支障のない様に慣らし運転の中、佐藤君と牧野君の著しい進歩のプレーに 皆、目を見張っていた。明日まで続くかな？

20 時から中国料理「翠陽」で円卓を囲んでのいつもの食事会が始まった。飲みながら 中華料理を食べながらの語らいが続いた。一番の話題はやはり噴火の驚き。

先の全米オープンでの錦織の活躍を現地で試合を見てきた原田君のドヤ顔に羨ましさ 半分ながら楽しく聞いた。

後は過去・現在・未来までの話が続き、気が付いたら 22 時半を回っていた。

そして翌 28 日。美味しい朝食をお代りして「さあ、本番。」コートに集合し、布施会長 挨拶の後、中山君作成の絶妙なドローに沿ってスタート。

途中で駆けつけくれた宮沢君も加わり 1 人 10 試合弱のゲームが始まった。

一巡する頃から疲れが見え始めてきたが、お昼のおにぎりを食べた後頃には「パス」と 言って休みがちになる選手がちらほら出てくるのに、今回は 14 時過ぎまで脱落者もなく ドロー通りのメニューをこなしていった。

ナイターで絶好調の佐藤、牧野両君の結果は本人の了解を得ていないので詳しくは 書けないが確実に前回より上回っている。

最多勝利獲得者(敢えて優勝者とは言わない)は朝から気持ちの入っていた中山君が 皆の拍手に喜びを噛み締めて満足げだ。

試合の中にはナイスショット、ナイスサーブ、空振り、ホームラン等数えきれない程 あるが私の印象に残ったプレーを一つ。

白熱したラリーを繰り返す中、相手方の前衛の原田君が転倒し尻もちをついた。

私は彼を避けて遠くへ優しくボレーで落とした。

自分としてはこれぞ武士道精神と納得したが、原田君はロブにして返してくれたら直ぐ 起き上ってとれた、と不満そう。

これぞ上田高校魂！決して諦めない精神と言いたいところだが、誰が見ても到底無理な 話と大爆笑になった。怪我が無くてよかった。

全てが終わってしまい、スパで汗を流して各々帰路に着く。

私はここから 10 分程の実家に戻って再度お泊り。

今回は何が一番良かったか？それは初秋の浅間山を背景にした爽快の快晴だったこと。

次回も、と祈ってる。

(後記) この会には、いつもかみさんも参加させてもらっているのですがこの原稿を代筆してもらおうと声を掛けたら「自分でやれば」の冷たい言葉が返ってきた。

そして辛口の一言「このおじさん達意味分らない位ちゃんとテニスしてる」だって。

(2014/10/ 4 内堀記、写真提供：中山)

【集合写真説明】 前列左から原田、若柳、中山、内堀、
後列左から宮沢、牧野、関、布施、内堀夫人、佐藤

